

友の会だより

No.67
2022.7

茨城県陶芸美術館友の会

展覧会
案内

井上雅之 描くように造る

会 期：令和4年6月11日(土)～令和4年8月28日(日)
主 催：茨城県陶芸美術館 協 賛：一般社団法人文化振興ネットワーク
助 成：公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団
後 援：笠間市、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、産経新聞社水戸支局、東京新聞水戸支局、
読売新聞水戸支局
休 館 日：毎週月曜日(ただし7月18日、8月15日は開館)、7月19日(火)

日本現代陶芸の中でも大型の造形作品を中心に第一線を走り続けてきた井上雅之(1957-)の過去最大規模の個展です。井上は、ろくろ成型後に割った破片を作品の一部に用いたり、ボルトで陶のパーツを組み立ててダイナミックな作品を作ったりといった従来の焼き物の常識にとらわれない自由な発想で、陶の可能性を大きく拡張した作家です。企画展示室のみならず館内各所にわたり大規模に展開される本展では、初期から新作まで約70点を通じて、作家の40年にわたる歩みをたどり、作家の今を紹介します。



▲「H-221」2022年 作家蔵
撮影 林雅之



▲「Untitled」1983年 作家蔵
撮影 林雅之



▲「B-9110」1991年 中長小西蔵



▲「MU-022」2002年 作家蔵
撮影 林雅之

● 展覧会関連催事のご案内

* 詳細は、チラシや下記ホームページ等をご覧ください。

● アーティストトーク

内 容：作品を前に、井上雅之氏が作品や制作について語るトークイベントです。
日 時：8月6日(土) 13時30分から 場 所：当館1階ロビー、地下1階企画展示室
参加費：無料(観覧料にてご聴講いただけます。) ※1階ロビーにお集まりください。

● ギャラリートーク

内 容：担当学芸員が展覧会をご案内します。
日 時：7月9日(土) 13時30分から 場 所：当館地下1階企画展示室
参加費：無料(観覧料にてご聴講いただけます。) ※地下1階企画展示室入口にお集まりください。

● つくば美術館土曜講座「井上雅之、その造形と歩み」

講 師：芦刈歩(茨城県陶芸美術館学芸員) 日 時：7月16日(土) 13時30分から15時
会 場：茨城県つくば美術館2階アルスホール
TEL：029-856-3711 ※詳細は茨城県つくば美術館へお問い合わせください。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今後の状況により予告なくイベント等を中止・延期する場合がございます。変更の場合には、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

茨城県陶芸美術館ホームページ <https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

陶芸に無限(夢現)を求めて

尾崎高行さん

重量感たっぷりの器達。子どもの頃からの思いを今につなげている尾崎高行さん(銚田市在住)の工房を伺いました。(5月20日)



出身はどちらですか？

東京都足立区の出身です。

陶芸の道に進まれた経緯についてお聞かせください。

子どもの頃から陶芸に興味がありました。小学校4年生の時、地元の児童館で行われていた陶芸教室が焼き物との出会いです。粘土細工の面白さに引き込まれ、陶器作りを始めました。親が電動ロクロと灯油窯を買ってくれ、笠間市の窯元に連れて行って陶芸体験もさせてくれました。中学生の時、テレビで加藤唐九郎さんのドキュメンタリー番組で穴窯で志野を焼く「やきもの世界」に魅了されました。社会に出て別の仕事に就きましたが、陶芸は続けていました。30代半ばに銚田市に土地を購入し、穴窯「夢現窯」を自分で作り、陶芸の道で生きることを決意しました。工房も自作で師匠なし独学でのスタートでした。

作品づくりについてお聞かせください。

織部・志野の美濃焼、信楽焼風の焼締めを多く作っています。皿や鉢などの食器を作ることが好きです。食器としての盛り映えを重視し、使い易さに流されないようにしています。焼き物の色としては「緑」が好きなので、緑釉の織部や緑色のビードロが入った信楽焼が好きです。陶芸は自分の中で完結できるのが魅力のひとつです。織部の奥深さと自由さに惹かれ傾倒しています。銚田で作陶していますが、「笠間織部・茨城信楽」を名乗っています。焼き物は炎の芸術だと思っているので、志野焼は薪窯で必ず行っています。「志野焼を薪で焼くの？ ガス窯で焼いたら・・・。」と言われたことがあります。何十個か焼いて2つか3つ上手くできた時の喜び、それが薪窯の魅力であり、できあがった作品には力強さを感じます。

今後、どんなことをやりたいですか？

今やっていることを突き詰めて進みたいです。お笑い芸人と同じで、常にネタを変えているのが陶芸家です。自分の持ち味を変えず、常に一割二割の変化を求めて将来は、五割位変えられた作品を作っていけたらと思っています。伝統にかじりついては、自分の将来は無いと思っています。そのためにも、「造形力」を磨いていきたいと思っています。最後の一味がまだ足りないと感じています。「この作品、尾崎だよね」と言ってもらえる作品を作りたいと思っています。粉引き、赤絵もやってみたいです。また、焼き物以外でタペストリ、掛け軸、オブジェ、金属加工等もやりたいです。総合芸術として、その可能性に触手を伸ばしていきたいと思っています。

プロフィール

- 1973 東京都足立区生まれ
- 1983 小学校4年生の時に陶芸と出会う
- 1985 小学校6年生時に自宅に築窯。独学で陶芸を始め、信楽、織部、粉引、志野を中心に制作する
- 2006 茨城県銚田市に穴窯を築窯
- 2007 桜の里陶芸展にて奨励賞
- 2009 「尾崎高行穴窯作品展 炎の足跡」(ギャラリー元町)をはじめ、個展・グループ展多



対談を終えて

師匠を持たず、独自の思考を持って陶芸の道を歩まれている生き方に、強い力を感じました。総合芸術家として進むことが、無限であり「夢現窯」であると思いました。

ヨーロッパ磁器絵付け講座

ヨーロッパ磁器絵付け講座を、3月13日(土)・23日(水)の2日間の日程で実施し、17名の方が参加されました。当初、9月に実施する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況から3月に延期しての実施となりました。講師のマリア先生の指導の下、今回は、陶板への絵付けを行い、楽しい時間を過ごすことができました。できあがった作品は額に入れて完成となりました。作品は、美術館内友の会コーナーに展示されています。お越しの際はぜひご覧ください。



友の会からの お知らせ

6月1日(水)に理事会・代議員会が合同で開催され、令和3年度事業報告・収支決算報告、令和4年度事業計画(案)・収支予算(案)が承認されました。下記の内容で令和4年度の事業を進めていきます。ぜひご参加ください。

令和3年度事業報告

●会報「友の会だより」の発行 No.64, 65, 66発行

つくる

●ヨーロッパ磁器絵付け講座

期 日：3月13日(土)・23日(水)
講 師：マリア・テレサ・ルーディ 横田 先生
場 所：陶芸美術館研修室
参加人数：17人

●笠間工芸の丘の各種体験への会員割引参加(通年)

きく

●各企画展・特別展開催中に実施する講演会に参加した会員への記念グッズの贈呈

みる

●国内研修視察

新型コロナウイルス感染防止のため実施せず

●日帰り研修

新型コロナウイルス感染防止のため実施せず

呈茶会

新型コロナウイルス感染防止のため実施せず

会員へのプレゼント

笠間陶芸大学校生徒作品を会員にプレゼント

新型コロナウイルス感染症の感染が収まらないため、いくつかの事業を中止とさせていただきます。事業が中止となる中、会員への還元として「笠間陶芸大学校生徒作品を会員にプレゼント」を実施させていただきました。まだ受け取っておられない方は、来館時にお受け取りください。

令和4年度役員

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名
顧 問	関 実枝子	理 事	稲葉 節生	監 事	高崎せつ子	代議員	桜井 尚子
会 長	堀 東男	理 事	岡野 安次	代議員	植田 文弥	代議員	説田 和彦
副会長	金杉 春樹	理 事	武井江津子	代議員	檜崎 里子	代議員	山崎 雅宏
副会長	増渕 浩二	理 事	幡谷 浩史	代議員	岡田 卓也		
理 事	飯田 義之	監 事	富永 重己	代議員	酒井 芳樹		

(任期は令和5年6月3日まで)

令和4年度事業計画

●会報「友の会だより」の発行 No.67, 68, 69発行

つくる

●ヨーロッパ磁器絵付け講座

期 日：7月14日(木) 23日(土)
講 師：マリア・テレサ・ルーディ 横田 先生
場 所：陶芸美術館研修室 募集人数：16人

●笠間工芸の丘の各種体験への会員割引参加(通年)

きく

●各企画展・特別展開催中に実施する講演会に参加した会員への記念グッズの贈呈

●友の会主催講演会

日 時：8月21日(日) 午後2時
会 場：茨城県陶芸美術館 多目的ホール
講 師：角田恵理子 氏
演 題：「茶掛も、浮世絵も読める、わかる、初めてのくすし字」
入 場 料：無料(展示室を閲覧する場合は、入館料が必要)
申 込：茨城県陶芸美術館 0296-70-0011

みる

●国内研修視察 ※詳細は会報No68(10月)発行時に

期 日：12月1日(木)～12月3日(土)
視 察 先：奈良 伊賀 信楽方面 募集人数：25人

●日帰り研修 ※詳細は会報No69(2月)発行時に

期 日：3月 視察先：笠間市(窯元 春風万里荘 など)
募集人数：30人

呈茶会

●企画展関連呈茶会

期 日：11月13日(日) 茨城県民の日
企 画 展：「欲しいがみつかる・うつわ展Ⅱ」一笠間と益子一
席 主：花田 和枝 氏
会 場：陶芸美術館地下オープンギャラリー

会員へのプレゼント

笠間陶芸大学校生徒作品を会員にプレゼント

※3年度の事業の継続としてまだ受け取っておられない方に来館時に贈呈する。



良い品をそろえてご来店をお待ちしています

友の会特約店のご紹介

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| アトリエ・フラスカ | 0296-72-9322 |
| 笠間工芸の丘 | 0296-70-1313 |
| ● 6月22日(水)～7月10日(日) | 夏の器展 |
| ● 7月13日(水)～7月31日(日) | 滝沢三奈子展 |
| ● 7月13日(水)～7月31日(日) | ～青白磁・青花～ 相馬晃・登志恵展 |
| ● 8月3日(水)～8月15日(月) | 迫二郎・杉山洋二 吹きガラス二人展 |
| ● 8月17日(水)～8月28日(日) | 高橋協子展 |
| ● 8月31日(水)～9月11日(日) | たなつる工房 木工展 |
| ● 9月14日(水)～10月2日(日) | 海老澤礼子・こじこじ 二人展 |
| ● 9月14日(水)～10月2日(日) | 井上卓展 |
| 笠間みんげい | 0296-72-9280 |
| かつら陶芸 | 0296-72-6688 |
| ギャラリー桜 | 0296-72-0803 |
| ギャラリー爽鳳SOHO | 0296-72-9121 |
| ギャラリー舞台 | 0296-73-0700 |
| 笠間焼窯元共販センター | 0296-72-5665 |
| きらら館 | 0296-72-3109 |
| ● 6月28日(火)～7月10日(日) | 中村明美 作陶展 |
| ● 7月12日(火)～7月24日(日) | 野村晃子 作陶展 |
| ● 7月27日(水)～8月15日(月) | ねこ展18th |
| ● 8月18日(木)～8月28日(日) | ホソカワカオリ(益子メンバー) グループ展 |
| ● 8月30日(火)～9月11日(日) | あじさい工房 作陶展 |
| ● 9月13日(火)～9月25日(日) | assa・堀水小夜 2人展 |

- | | |
|----------------------|--------------|
| ● 9月27日(火)～10月10日(月) | 駒澤博司 作陶展 |
| 向山窯 | 0296-72-0194 |
| 丹野陶房 | 0296-72-4028 |
| 陶芸館 | 0296-72-6650 |
| ギャラリー陶正 | 0296-72-4007 |
| 東風舎 | 0296-72-5205 |
| 無限堂 | 0296-72-1695 |
| やまさき陶苑 | 0296-72-6865 |
| 涼 | 0296-72-0712 |
| ミュージアムショップ(館内) | 0296-72-7105 |
| レストラン「風の丘」(館内) | 0296-72-0197 |

各店舗で買物をされる際、会員証を提示していただくと、陶器が10%割引となります。(一部除外品があります。)笠間工芸の丘は体験のみ対象です。レストラン「風の丘」は飲み物サービスとなります。

友の会からのお知らせ

会員募集

茨城県陶芸美術館友の会では、会員を随時募集しています。陶芸が好き、陶芸についてもっと知りたい、体験してみたい・・・そんなあなたの期待に応えます。

年会費 3,000円(夫婦会員は2人で5,000円)

- 特典1** 常設展が、何度でも無料観覧できます。
- 特典2** 企画展が年2回まで無料で観覧できます。
- 特典3** 会報の無料配付(年3回)を受けられます。
- 特典4** 特約店において、陶磁器等の割引が受けられます。
- 特典5** 友の会主催の各種事業に参加できます。

お問合せは茨城県陶芸美術館友の会事務局までお願いします。
茨城県陶芸美術館友の会事務局(茨城県陶芸美術館内)
電話 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012

編集後記

外国人観光客の受け入れが段階的に始まり観光地の賑わいも戻りつつあります。友の会の事業も計画にそって実施していきます。ぜひ、ご参加ください。

友の会だより No.67

発行：令和4年7月1日
編集・発行：茨城県陶芸美術館友の会
〒309-1611 笠間市笠間2345(茨城県陶芸美術館内)
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012
編集委員：小薬 和子 鈴木 充